写真だより No. ㊸

女王谷の神々(1)
モルド山神

写真と文／四姑娘山自然保護区管理局 特別顧問
大川 健三

中国語で嘉絨（発音はジャーロン）と呼ばれる四川省アバ蔵族羌族自治州西部とガンツー蔵族自治州中東部の地域は、ギャロン・チベット語（中国語で嘉絨蔵話）でギャルモロン（意味は女王の谷[注1)]）と呼ばれ、女王谷の名前から察する通り、主要な神々は全て女神です。先ず、凡そ 2000 年前から始まる女王谷の歴史[注2)]において最高位の土地神として崇められているのは中国語で墨爾多（発音はモルド、チベット語でムルド）と呼ばれる山神＝モルド山[注3)]、4820m です（**写真 1**）。

現在各地に残るモルド山神の絵は殆ど男の軍神として描かれていますが、これは 18 世紀中期の金川戦役以降の現象と考えられ、元々は女神だと伝承されています。それはモルド山神の宿る山が元来ギャロン・チベット語で「女王の尖った岩[注4)]」を意味するギャルモ・モルド（ワイリー式転写字表記で “rGyalmo-murrdo”、チベット語でギャルモ・ムルド）である事からも明らかです。名前の由来はムルド神が宿るモルド山の写真を見て頂ければ一目瞭然です。伝承では、この女神は女王谷に棲んでいた妖精ラモダンデンマ[注5)]で、凡そ 2000 年前にシャンシュン（中国語で象雄、紀元前からチベット高地で栄えた女王国で 7 世紀に吐蕃王国が滅ぼした）から東チベットのゴンブー（中国語で工布、チベット語でコンポ）を経由して、ボン教を携え[注6)]移民して来た王子と結ばれ、後に女王谷初期の 4 公国[注7)]を作る 4 人の息子を産んだ後、モルド山に籠って土地神になったとされています。この移民達はモルド山にシャンシュンの最高位の土地神であったカンリンポチェ 6638m “Kangrinpoche” またはカイラス “Kailash”（中国語で岡仁波斉または凱拉什）を想起したかも知れません。

写真 1：モルド山 4820m

写真 2：領主の館跡に残るモルド神の壁画

現在各地に残るモルド山神の絵では殆ど驢馬に乗っていますが、東女国（唐時代 618～907 年の歴史書である唐書に記録された 7 世紀前後に女王谷に有った国）の流れを受け継ぐ 800 年の

写真 3：古いチベット仏教ニンマ派のお寺に残るモルド神の壁画

歴史を持つ領主の館跡に残るマニ堂に伝承されているモルド山神は獅子（ライオン）に乗っています。これはボン教が古代ペルシャ起源の拝火教の影響を受けている（ライオンは古代ペルシャの聖獣）事に関わるのかも知れません（**写真 2**）[注 8)]。また同じ構図の壁画がモルド山を間近に望む集落に在る古いチベット仏教ニンマ派（中国語で西蔵仏教寧瑪派または紅教）のお寺にも残っています(**写真 3**)。

■注

1）ワイリー式転写字表記で“rGyalmo-rong”、ゲェルモロンとも発音します。女王谷の語源について「四姑娘山・写真だより No.18、女王谷の言葉：ギャロンの語源と方言」http://wanli-san.com/ookawasan/P-folder/4Girl-18.pdf を参照して下さい。

2）女王谷の歴史の始まりは諸説あり、チベット文化研究で著名な元東京大学名誉教授の山口瑞鳳さんは「早くとも 3 世紀から始まる」としています。

3）古代のチベット文化圏では山と湖が対になって信仰されていて、モルド山の山頂近くにも小さな湖が有ります。山が男神で湖が女神の場合も有りますが、そうでない場合も有り複雑です。なお女王谷の最高峰は東部に位置する四姑娘山 6250m で、元来チベット系の地元少数民族の間でスコラジダ“Sukolagidda”（正確な発音が伝承されていない為この表記は暫定的です）と 呼ばれる土地神の一つです。四姑娘山の主峰の周りにも湖が沢山あります。

4）「女王・ム氏族の石」の解釈が主流ですが、ここでは「女王の尖った岩」を採用しています。なお女王谷に東女国を建てた「ダン氏族」の石であるとされない理由は、ダン氏族がム氏族の一派で且つム氏族由来のボン教が女王谷に広まった経緯に関わると考えられます。

5）ラモダンデンマの名前の一部“ラモ”が、美人になるよう願いを込めて今も女の子の名前に使われています。

6）7 世紀にインド仏教が伝来するまで吐蕃王国の国教だったボン教はシャンシュンから直接伝わったのではなく、吐蕃王国を建てたヤルルン王朝成立以前から女王谷出身の皇后等との婚姻関係を経て伝わったとする説が有ります（東方研究会やミュンヘン大学等でチベット文化を研究されている石川厳さんのお話に拠る）。

7）４公国の伝承は女王谷の時代や地方によって変わり、丹巴北西部に位置するゲシザ（中国語で革什扎）と北隣の金川県北西部に位置するチョスジャ（中国語で綽斯甲）だけが共通しています。

8）丹巴のボン教の高僧のお話に拠りますと、このモルド山神の絵は 1000 年以上の歴史を持つそうですが、モルド山神が男の軍神として描かれているので、絵その物は 18 世紀中期以降の作だと考えられます。

●大川さんのホームページはこちら http://rgyalmorong.info/index.htm
http://rgyalmorong.info/scholaweb/conts.htm

▲お知らせ：女王谷の HP （http://rgyalmorong.info/）に、当地の風情を紹介するサンプルビデオ（MP4 形式 8MB 前後）1 分余り×15 本を追加しました。日本語 HP に入って頂いて、先頭頁の左下に有る、「風情のあるビデオ」でご覧になれます。(http://rgyalmorong.info/scholaweb/queenvideo-j.htm)